

スリップ事故！気をつけて

雪が降り始め、橋の上・トンネル・カーブなどでのスリップ事故が懸念される季節となりました。士別市では、雪が降り始めた21日から本日（26日）朝までに9件の事故が発生し、そのうち5件は郊外の直線道路で発生しています。

郊外の直線道路は、市街地に比べスピードが出ているため、ほんの少しのブレーキやハンドル操作、轍などにより対向車線にはみ出し、対向車があれば正面衝突事故、対向車がなければそのまま路外逸脱等、大きな事故につながるおそれがありますので十分注意が必要です。

【運転者の皆さまへ】

- 前車との車間距離を十分に取る
- スピードダウンの徹底
- 無理な追い越しは絶対にしない



信号のない横断歩道では…



信号のない横断歩道の手前約30～50メートルにはひし形の標示がついています。また、雪などで横断歩道や手前の標示が見えなくなる場合、青色の標識もついています。

横断歩道を走行する運転者の皆さんへ

道路交通法により、走行する進路の前方に横断歩道等を横断、または横断しようとしている歩行者等がある場合、その横断歩道等の手前で一時停止し、その歩行者等の通行を妨げないようにしなくてはなりません。

道路を横断する歩行者の皆さんへ

道路交通法により、横断歩道がある場所の付近では、その横断歩道によって横断しなければなりません。また、斜めに横断してはなりませんし車両等の直前または直後で横断してはなりません。（除外有り）

横断時の注意として、走行してくる車両が必ず自分を見ているとは限りません。車両が止まるのを確認してから横断するようにしましょう。

横断時の約束（4つ）

とまる（必ず一回止まる）みる（左右前後の確認）まつ（車がきていたら渡らない）みる（車が通りすぎたからといってすぐに渡らずもう一度確認）

安全で円滑な道路交通の為、ルールを守ることが当然です。その先へ一歩。相手の立場にたって思いやりを忘れずに。～みんなの願い“交通安全”～

